M winmostar チュートリアル

スラブ作成 Fe (1 1 0)面

V10.2.4

2020年10月5日 株式会社クロスアビリティ

本書について

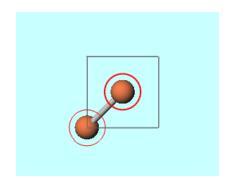
- 本書はWinmostar V10の使用例を示すチュートリアルです。
- 初めてWinmostar V10をお使いになる方はビギナーズガイドを参照してください。
- 各機能の詳細を調べたい方は<u>ユーザマニュアル</u>を参照してください。
- 本書の内容の実習を希望される方は、講習会を受講ください。
 - Winmostar導入講習会:基礎編チュートリアルの操作方法のみ紹介します。
 - <u>Winmostar基礎講習会</u>:理論的な背景、結果の解釈の解説、基礎編チュートリアルの操作方法、基礎編以外のチュートリアルの一部の操作方法を紹介します。
 - 個別講習会:ご希望に応じて講習内容を自由にカスタマイズして頂けます。
- 本書の内容通りに操作が進まない場合は、まずよくある質問を参照してください。
- よくある質問で解決しない場合は、情報の蓄積・管理のため、<u>お問合せフォーム</u>に、不具合の 再現方法とその時に生成されたファイルを添付しご連絡ください。
- 本書の著作権は株式会社クロスアビリティが有します。株式会社クロスアビリティの許諾な く、いかなる形態での内容のコピー、複製を禁じます。



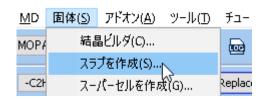
I. 単位格子の読み込み

チュートリアル | Samplesフォルダを開くをクリックする。

1. サンプルフォルダ内のfe.cifをメインウィンドウ内にドラッグアンドドロップする。 (デフォルトではC:\frac{\frac{1}{2}}{2} winmos10\frac{1}{2} Samples\frac{1}{2} fe.cif

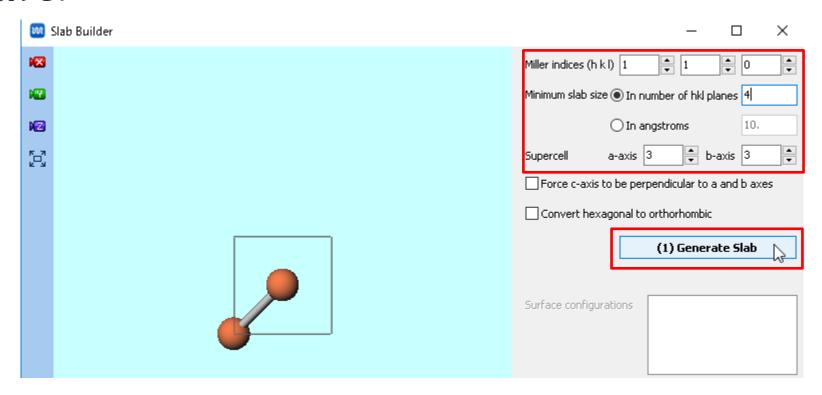


固体 | スラブを作成をクリックると、「Analyzing symmetry using Spglib...」と数秒表示 された後、Slab Builderウィンドウが出現する。



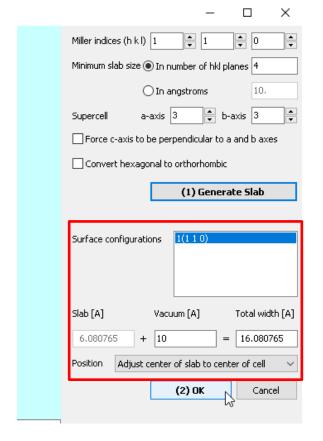
II. スラブの作成

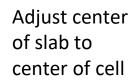
1. Miller indicesの数字を切り出したい表面の指数「1」「1」「0」に変更する。厚みを変更するためMimimum slab sizeのIn number of hkl planesを「4」に変更し、表面方向にセルを拡張するためSupercellの値を「3」「3」に変更する。そしてGenerate Slabボタンをクリックする。「Calculating using pymatgen...」と数秒表示され、Surface configurationsに候補構造が出現する。

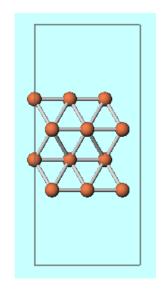


II. スラブの作成

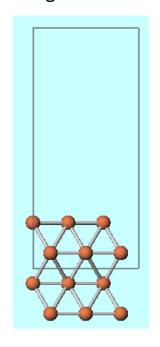
1. 必要に応じて、表面の原子層をSurface configurationsで、真空層の厚みをVacuumまたは Total widthで変更する(ここでは変更せず) 。シミュレーションセル内でのスラブ位置を変える場合はPositionを変更する(下図参照)。



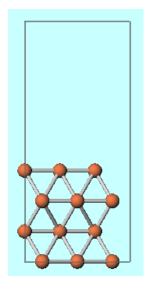




Adjust center of slab to origin of cell

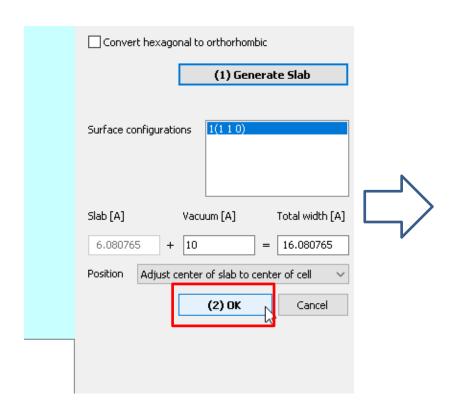


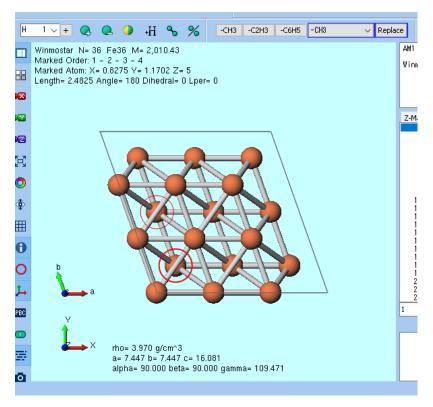
Adjust origin of slab to origin of cell



II. スラブの作成

1. **OK**ボタンをクリックすると、メインウィンドウにスラブが出現する。





最後に

• 各機能の詳細を調べたい方はユーザマニュアルを参照してください。



<u>ユーザマニュアル</u>



Winmostar 講習会の風景

- 本書の内容の実習を希望される方は、Winmostar導入講習会、Winmostar基礎講習会、 または個別講習会の受講をご検討ください。(詳細はP.2)
- 本書の内容通りに操作が進まない場合は、まずよくある質問を参照してください。
- よくある質問で解決しない場合は、情報の蓄積・管理のため、<u>お問合せフォーム</u>に、不具合の 再現方法とその時に生成されたファイルを添付しご連絡ください。

以上